



## 明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリ

生産

【資料名】 小車 踏車

【年代・来歴】 江戸期

【寸法】 (小車)全長 135cm 全高140cm 全幅20cm (羽根板)長さ30cm 幅13cm  
(踏車)全長 240cm 全高180cm 全幅30cm (羽根板)長さ40cm 幅20cm

【材質】 木製

【保存状態】 概ね良好

【画像 右「小車」 左「踏車」】



### 【略説明】

水田に水を引く灌漑のための揚水機。水車に似ているが、水力ではなく人力で水をくみ上げる農具。羽根車を手(小車)、足(踏車)で回転させ、羽根板で揚水する。

### 【注記】

文政5年(1822年)刊行の「農業便利帳(大蔵永常)」によれば、踏車は大坂で開発されたとされている。揚水能力や労力の面で優れていたため全国に普及したといわれている。明治期以降、電動ポンプなどの普及により次第に衰退していくことになるが、1960年代までは各地の農村で使用されていた。

所蔵元である静岡県農林技術研究所では農業資料館展示室を併設している。そこでは江戸時代から昭和にかけて県内で実際に使用されていた農具、民具、生活用品のほか農業に関する史料などを多数収集・展示しており、無料で見学することができる。

【所蔵機関】 静岡県農林技術研究所農業資料館展示室

【住所】 静岡県磐田市富丘678-1

【連絡先電話番号】 0538-36-1553

【所蔵URL】 <http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/>

【閲覧】 常設展示(入館無料)

開館時間: 平日9時~16時30分まで。

休館日 : 土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日、及び年末年始(12月28日~1月4日)